

女性の大活躍推進 福岡県会議

2015 年度活動報告
2015.04 ~ 2016.03



△6月24日、総理大臣官邸にて開催された表彰式には、久留代表が参加しました

内閣府 平成27年度 女性のチャレンジ支援賞 受賞

彰し、チャレンジの身近なモデルを示すことによって男女共同参画社会の実現のための機運を高めることを目的として、毎年選出されています。本会議は、福岡県内の経済界を中心に産官学民一体となって発足した全国初の運動組織であること、「女性大活躍推進宣言登録制度」により、企業や団体の女性管理職登用目標の数値を「見える化」していること、女性管理職ネットワーク「WE-Net福岡」を立ち上げ経営層や地域社会への働きかけを行っていることなど、地域における企業・団体の取り組みを後押ししている点が評価されました。

本会議は、男女共同参画社会の実現に顕著な貢献をした団体に贈られる「平成27年度 女性のチャレンジ支援賞」を内閣府から受賞しました。表彰式は6月24日、総理大臣官邸にて安部内閣総理大臣、有村内閣府特命担当大臣（男女共同参画）出席のもと執り行われ、久留共同代表が参加致しました。

女性のチャレンジ支援賞は平成16年度に制定され、女性のチャレンジについて積極的な支援を行い、男女共同参画社会の形成の促進に顕著な貢献が認められる団体・グループを顕



▶7月2日小川福岡県知事を訪問し受賞を報告しました
左：久留共同代表、中央：小川知事
右：松田企画委員会副委員長

女性の大活躍推進福岡県会議 1年のあゆみ (2015.4～)

■ WE Project の動き

- 4月 厚生労働大臣並びに女性活躍担当大臣宛て女性の活躍推進法案成立要請文書を内閣府及び厚生労働省の担当者に手交
- 6月 内閣府女性のチャレンジ支援賞受賞
- 7月 自主宣言企業インタビュースタート
- 7月 第1回女性の大活躍推進九州連絡会
- 7月 福岡県会議設立2周年記念式典
- 8月 福岡県女性活躍推進交流会
- 10月 長野県男女共同参画推進県民会議による本会議視察
- 11月 参議院内閣委員会調査室による本会議視察
- 11月 女性活躍推進担当者情報交換会開催
- 1月 静岡経済同友会静岡協議会ひと委員会による本会議視察
- 2月 育休復帰支援セミナー開催
- 2月 女性活躍推進のためのワールドカフェ開催



■ 全国各地の動き

- 4月 子ども子育て支援新制度スタート
- 4月 北九州市総務企画局に「女性の輝く社会推進室」設置
- 7月 北九州市男女共同参画センター「ムーブ」開所20周年
- 8月 女性が輝くおおい推進会議発足
- 8月 「女性が輝く社会に向けた国際シンポジウム WAW! 2015」開催
- 8月 女性活躍推進法 成立
- 10月 みやぎ女性活躍推進会議発足
- 10月 一億総活躍国民会議 第1回開催
- 12月 第4次男女共同参画基本計画閣議決定
- 3月 第4次福岡県男女共同参画計画策定
- 4月 女性活躍推進法 施行
- 4月 福岡県人づくり・県民生活部に女性活躍推進室を設置



女性の大活躍推進福岡

検索

<https://www.facebook.com/weproject.jp/>

Facebook ページにてセミナー情報やニュースなどを発信しています。ぜひご覧ください。

女性の大活躍 推進福岡県会議 の目的・概要

組織で働く女性の活躍推進をめざし、2013年5月に経済界主導で発足した産学官民連携組織です。女性の活躍を推進することによって、企業の総合力の向上（企業経営）及び地域経済の活性化（地域経営）を図るとともに、男女共に働きやすく、生きやすい社会づくりに取り組んでいます。グローバル化が進む今は総合的な競争の時代に突入しており、また急激な少子高齢化に伴い、人材の確保は社会的課題です。女性がイキイキと働き続けられる社会環境を整え、高い能力を有する女性人材の育成と活用に多角的に取り組んでいます。

自主宣言登録企業制度

本制度は、各企業・団体がそれぞれの環境に応じて、女性活躍推進の数値目標を定め、女性の活躍推進福岡県会議に登録し、公開するものです。また、これまでは「女性管理職の登用」に限った目標設定としていましたが、「男性管理職の意識改革」や「女性の採用増」など将来の管理職を担う女性の人材育成につながる目標設定を追加する予定です。本会議では登録企業の皆様のために、女性リーダー育成研修の受講料補助や人事担当者向け研修、女性活躍推進のための交流機会を提供しています。



宣言事例

CASE 1 ◆ 団体

ワークライフバランスの推進に向けた取り組みとして、平成27年度中に性別に関係なく家庭と仕事の両立のための柔軟な勤務制度の導入を目指します。5年以内に女性の管理職を現在の1名から5名以上とします。

CASE 2 ◆ 建設業

女性の管理職数の将来目標は平成31年3月1日までに、2人を目標値とします。

CASE 3 ◆ 医療・福祉業

2020年までに女性役員を1名登用します。ワークライフバランスの充実を図り非正規職員を5名以上正規職員に転換します。

CASE 4 ◆ 情報通信業

2020年までに、女性管理職の割合を現在の29%から50%にすることを目標とします。

CASE 5 ◆ 金融・保険業

平成27年度より5年後を目処に、女性管理職（部下を持つ役職者）の比率を15%にします。

CASE 7 ◆ 教育・学習支援業

女性管理職50%以上を維持します。育児、介護等々様々な時間制約のある社員（管理職）が職場にいることを前提にとらえ、個々の状況によって様々な働き方ができる新しい仕組みをつくり、且つ業務の効率化、業績を向上させていきます。

CASE 8 ◆ 卸売・小売業

2020年度までに女性管理職の比率を15%以上に引き上げます。
(内訳)

【管理職】 2014年度 10.3% → 2020年度 15.0%
 (部長 職 2014年度 16.6% → 2020年度 22.0%)
 (大型事業所長 2014年度 4.0% → 2020年度 8.0%)
 【その他】 課長職以下の役付職員 2014年度 36.0% → 2020年度 40%

こんな企業・団体が登録しています！

■業種別

行政・団体	29
サービス業	27
製造業	24
御売・販売・小売業	24
金融・保険・情報通信業	24
建設業・運輸業	23
教育・学習支援・医療・福祉	18
不動産・飲食店・宿泊業	10
その他・不明	26

■人員規模別

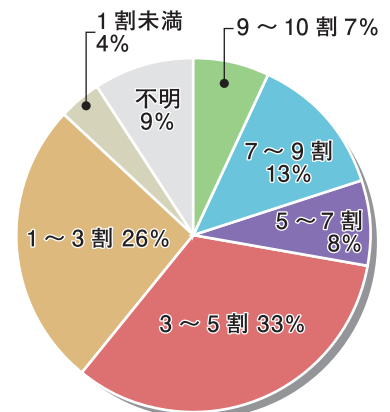
5001人以上	10
1001人～	13
501人～	13
301人～	23
101人～	40
100人以下	89
不明	19

登録数…207社

2016/01/31 現在

■地域別登録数

福岡地域（※本社東京含む）	156
北九州地域	22
筑後地域	19
筑豊地域	10



■女性従業員の割合（登録時）

宣言後の変化

広報・環境部会では、自主宣言企業・団体の経営陣の皆様から「自主宣言のきっかけ」や「女性活躍への具体的な取り組み」などを伺っています。自主宣言によるダイナミックな変化・効果を実感していただけるコンテンツです。「自主宣言企業・団体インタビュー」は、本会議のWEBサイトに随時更新されます。

多様なメンバーで女性活躍推進チームを発足

九電産業株式会社

代表取締役社長
津上 賢治さん



女性社員が少数派だと意見もなかなか吸い上げられないことから、女性活躍推進チームを発足させた。性別、世代、未婚か既婚か、子供の有無など、あらゆる立場の社員を選出し、労務関係の担当者そして女性登用に理解のある男性上司（いわゆるイクボス）を加え、女性7名男性2名で取り組んでいる。社内のイントラネット上に自由に交流できるコミュニティサイトを立ち上げ、女性活躍推進専用のコーナーを設けている。発案から実施までがスピーディーで、自分の意見が上まで届いている実感が持てると社員にも好評だ。社員インタビューやアンケート報告などを通して女性活躍推進チームの活動内容を見せることによって、理解が進んでいる。

(2015年7月取材時点)

女性の人材を活かし業績を伸ばす

株式会社ソルネット

代表取締役社長
長濱 好数さん



データエントリーが主な業務だったことから、元来女性社員が多かった当社では、現在も採用比率は男女ほぼ半々だ。良い人材を採用するために男女にはこだわらない。上級管理職の女性の比率も重要視。「新しいビジネスを創出するにはダイバーシティが必要。多様な人材を登用することで組織に刺激を与えたい」と、女性リーダー育成に注力している。実際に出産・育児経験のある女性マネージャーによるセミナーを開催。マネージャーを対象に、女性をサポートする社内規定を説明した。また社外のセミナーに積極的に社員を派遣するなど、ライフステージに応じた働き方の啓蒙も図っている。現場と経営が一体となった女性活用推進が、新しいビジネスの創出や、事業内容を転換していく上でもプラスに作用していると実感している。

(2015年8月取材時点)

女性の活躍が好循環を生む

福津市

市長
小山 達生さん



行政団体が最初に自主宣言をした福津市。平成17年の合併当初より女性の参画に力を入れていた福津市は、平成24年度から進めている『男女共同参画プラン・ふくつ』の中で、平成28年度までに達成する目標として、一般行政職の課長職以上に占める女性の割合を15.0%にすることをすでに定めていた。日頃からの取り組みが、1年前倒しの達成という成果となって表れた。福津市役所では心置きなく育休に入れるよう「育休代替職員」の制度を設けている。産休・育休に入る職員が発生した際には登録者を順に配属し、育休制度を上手く機能させている。女性職員の積極的な参画によって多様性が生まれ、それが『組織の成長』につながっている。

(2015年9月取材時点)

本会議の運営を行う 企画委員会



WE projectの趣旨に共感し、本会議の活動を企画し、運営まで行うメンバーです。企業・女性支援機関・行政等から集まった28名で構成されています。年に3回程度開催される企画委員会では、女性活躍推進に向けて検討すべきことや自主宣言企業を広げるためのアイデアなど、積極的な議論が交わされています。

■第二期企画委員会メンバー（順不同・敬称略）

池内比呂子 (株)テクノ・コーポレーション	中村 高明 (株)紀之国屋
石井まり美 コカ・コーラウエスト(株)	野依 智子 公立大学法人福岡女子大学
福田 磯美 (株)ふくや	藤田 宣子 (株)岩田屋三越
加藤 暁子 日本の次世代リーダー養成塾	南 文世 (株)コレット井筒屋
川原 正孝 (株)ふくや	村山由香里 (株)アヴァンティ
清澄由美子 (株)アヴァンティ	渡部 章子 シャボン玉石けん(株)
白石 克明 (株)西日本エルガーラビル	松本 恭子 福岡県
園田 理恵 九州電力(株)	宮崎 晶子 福岡市
高見真智子 (株)サイズ・コミュニケーションズ	小笠原圭子 北九州市
高山 健司 西部ガス(株)	大石 理 九州経済産業局
武内真美子 九州大学	甲斐 能枝 福岡労働局
田辺 純子 TOTO(株)	
中村 仁彦 福岡県商工会議所連合会	
小津 智一 NPO法人ファザーリングジャパン九州	
田島 正章 福岡市男女共同参画推進センター・アマカス	
西本 祥子 北九州市立男女共同参画センター・ムーブ	
松田 美幸 福岡県男女共同参画センター・あすばる	

女性の活躍推進福岡県 応援会議



福岡県内全域で女性活躍の推進を加速するため、2014年に発足したのが「女性の活躍推進福岡県応援会議」です。福岡地区、北九州地区、筑豊地区、筑後地区と、県内4エリアごとに幅広いネットワークを持つ有志メンバーで構成されています。年に1度の会議と日々の推進活動を通してサポートしていきます。

■応援会議メンバー（50音順・敬称略）

○福岡	大野 祐子 (株)ビジネスリファイン
	菊川 律子 放送大学
	納富 昌子 RKB毎日放送
	橋田 紘一 (株)九電工
○北九州	籠田 淳子 (有)ゼムケンサービス
	豊川 裕子 (株)豊川設計事務所
	深町 宏子 北九州商工会議所
○筑豊	宮嶋 玲子 (株)宮嶋産業
○筑後	井手 和英 (株)筑邦銀行
	川村 芳子 久留米商工会議所

2015 年度活動報告



7/
17日

「女性の大活躍推進福岡県会議」二周年記念式典 内閣府平成 27 年度女性のチャレンジ支援賞受賞記念



▲二周年式典の会場の様子

全国に先駆けて女性活躍に取り組んでいる本会議の、二周年記念式典を開催しました（参加者180名）。来賓の大曲昭恵福岡県副知事は女性管理職ネットワーク「WE-Net福岡」一期生として

のご経験も踏まえ、官民区別のない女性管理職間の新しいつながりが形成され、絆ができたことの意義を高く評価。久留百合子共同代表は、「女性のチャレンジ支援賞」の受賞報告と「女性活躍推進法案」成立を見据えた今後の取組みについての説明を行いました。吉廣啓子福岡県京都郡苅田町長による記念講演は「～福岡県唯一の女性首長として『人が元気、まちが元気、未来へはばたく苅田町』をスローガンに活躍中」と題し、「首長は男性」という固定的役割分担意識と闘う女性首長としての足跡をお話いただきました。

第二部では、「ライフとワークの充実が人材戦力化の鍵」をテーマに、経営トップによるパネルディスカッションが行われました。「独身や既婚、子どもの有無に関わらず、やりがいを持って仕事を続けられる企業風土づくりに取り組んでいる」「ロールモデルになる女性の先輩がいれば、次の世代の女性たちが育っていく。競争力の源泉は人材にあり」「福岡県議会議長時代、麻生渡元知事のもとで女性の副知事が初めて誕生した。現在、

3代目の女性の副知事が誕生しているが、当時、あれだけ議論したことが、今では当たり前のように進んでいることに時代の流れを感じる」「ここ4年で子どもが誕生した100人の男性社員のうち12人が育児休暇を取得した。周りの理解が進み、堂々と取得できている」「上司には、部下の家庭環境や休みが取れているのかどうか把握しておくよう伝えている」など、業種は異なっても、組織の成長には人材育成の強化が必要だという点で一致。その上で、女性社員の活躍の幅を広げ、男女ともにワークライフバランスのとれた環境づくりに取り組むことが、新たな発想や働き方の変化を生み出すことを伝えていただきました。

▼パネルディスカッション



●パネリスト

有限会社ゼムケンサービス代表取締役社長 籠田淳子さん
株式会社タカギ 代表取締役社長 高城寿雄さん
株式会社西日本新聞社 代表取締役社長 川崎隆生さん
福津市 市長 小山達生さん

●コーディネーター

福岡県男女共同参画センターあすばる館長
女性の大活躍推進福岡県会議・企画副委員長 松田美幸さん

8/
21日

福岡県の女性活躍推進交流会

3代に渡る女性副知事の誕生、男女共同参画推進拠点「あすばる」新館長の就任、そして本会議の内閣府「女性のチャレンジ支援賞」受賞。福岡県の女性活躍に関する喜ばしいニュースが重なりました。これまでご尽力いただきました方々への感謝の意を表するとともに、女性の活用・登用の機運を社会全体で盛り上げていくため、経済界、男女共同参画推進関係団体が一堂に会する交流会を開催しました。

福岡県副知事の海老井悦子さんのご退任、大曲昭恵さんの3代目女性副知事ご就任。福岡県男女共同参画推進センター



▲交流会の様子

「あすばる」館長の村山由香里さんのご退任、松田美幸さんの「あすばる」新館長ご就任。各位よりスピーチをいただき、参加者全員が連携して女性活躍を進めていくことの心強さを感じる交流会となりました。

本会議への視察・取材受け入れ

●7月24日・8月18日
北海道大学教育学研究准教授 駒川智子氏による研究取材。

●10月29日
長野県議会県民文化健康福祉委員会より太田昌孝委員長を始めとする8名の委員の方が本会議を視察。

●11月5日
一般財団法人地域活性化センター視察受け入れ。

●11月13日
参議院内閣委員会調査室調査員の3名の方が本会議を視察。調査員の中には、参議院にて「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（女性活躍推進法）」の

関係者の姿も。女性活躍、ワークライフバランス等に関して意見交換が行われました。

●1月29日
静岡経済同友会静岡協議会ひと委員会の4名の方が、本会議を視察。本会議の設立に至る経緯、各部会、WE-Net福岡の活動状況等を説明しました。



▲静岡経済同友会静岡協議会の視察

11 / 24日 企業における女性活躍推進
及びダイバーシティ推進担当者の
情報交換会

▼情報交換会の模様



女性活躍・ダイバーシティ推進担当者のための情報交換会を開催し、16企業団体・26名の方々にご参加いただきました。先進的な企業における女性活躍推進及びダイバーシティ推進の取組みがはじまって約10

年になりますが、この2年ほどの間に、女性活躍推進室やダイバーシティ推進室を設ける企業や、女性活躍のプロジェクトチームをつくる企業が急増。女性活躍推進法も成立し、2016年4月の施行に向けて準備を進める企業も多いことから、女性活躍及びダイバーシティに関する学びを深め、自社の施策をより良いものにしていただくための情報交換の場としました。また、社をまたがる連携の在り方やネットワークへの期待などのご意見をいただき、今後に向けての活動を検討していきます。

2 / 18日 育休復帰者向け
「仕事と子育て両立応援セミナー」

昨年に続き、育児休業者のスムーズな社会復帰を支援する目的で、託児付きセミナーを開催しました。

(参加者：47名、福岡市と共催)

第1部は、「復帰前に知っておきたい事」をテーマに、NPO法人ママワーク研究所理事長 社会保険労務士田中彩さんが講話。両立支援制度の目的と使い方、キャリアに役立つ育休中の使い方、育児しながら働くコツなどの話がありました。

第2部では、「復帰後に大切な事」をテーマに、講師：NPO法人ママワーク研究所 理事 中山淳子さんにお話いただきました。時間制限のある働き方の工夫、職場でのコミュニケーションなど、子育てと職場とのバランスについて具体的なアドバイスが満載でした。

第3部のグループワークでは、不安や働き方の工夫を意見交換し、最後はそれぞれに「復職後のわたし宣言」を発表。復職に向けての前向きな心構えとネットワークが育まれるセミナーとなりました。

▼セミナーの様



2 / 26日 これからの働き方を考える
ワールドカフェ第3弾

昨年度に引き続き、『男女ともにいきいきと働き続けられる社会や組織』をテーマにワールドカフェを開催。ファシリテーターにはダイバーシティマネジメントの第一人者である荒金雅子さんを迎えました。

「あなたはいきいきと働いていますか？」のホームセッションから始まり、テーブルを移動しながら議論を深めました。働き方革命の為に自分自身ができる事は何かを自らに問い明日からの行動につなげていくための機会となりました。

まとめとして“自分が周りの人を認め理解する”“にこにこ子育て、わくわく仕事、ぼちぼち家事”“社員に「未来の希望」を与えたい”“定時に帰る&人と話す”など、明日からの行動約束を各々が葉っぱに書き、一本のツリーで共有しました。アンケートによると参加者の94%が気づきを得たと回答。「制度や仕組みの話ではなく自分ごととして語れたのがよかった」「変化を面倒だと思わずに楽しむことが大切だ」など、セッション同様にプラス思考のコメントが多くありました。

WE Project「女性の大活躍推進福岡県会議」主催
これからの働き方を考える
ワールドカフェ 第3弾
参加費 無料
定員100名

男女ともにいきいきと働き続けられる社会とは？
組織とは？

荒金雅子さん
ダイバーシティマネジメントの第一人者

日程 平成28年2月26日(金)
14:00~17:00(開場13:00) 会場2階12号室

会場 グロービス経営大学院福岡校
福岡市東区早良1-1-1 グロービス福岡校

対象 企業や団体等の経営者の皆様の方
①企業や団体等に勤務されている
管理職、社員、役員、役員等の方
②学生
※参加費は無料です。

内容 1.オリエンテーション
2.ワールドカフェ

連絡先 092-713-6735 fax.092-713-4292
mail we-project@kiaac.or.jp

▼行動約束のツリー



●ファシリテーター

株式会社クオリア 代表取締役 荒金雅子さん



▲ワールド・カフェのテーブル上



▲荒金氏によるファシリテーション

メディア
掲載

【厚生労働省】

女性活躍推進事例集「地域で取り組む女性の活躍推進～働く女性のメンター育成と地域ネットワークづくり～」掲載

【東洋経済 ONLINE】

9/2 掲載『九州男児発の「女性大活躍運動」が広がるワケ』

【テレビ西日本】

2/19 放送『もち浜ストア夕方版』にて仕事と子育て両立応援セミナーの様、村山部会長インタビュー放映



WE-Net 福岡とは

WE-Net福岡は、「女性の活躍推進福岡県会議」内に2014年10月、立ち上げた女性管理職のネットワーク団体です。

対象となるのは、福岡県に事業所がある企業や団体の課長・部長クラスの女性管理職。1年間を1期として、毎期ごとに企業や団体から推薦された35～40人が登録し、四半期に1回の定例会を中心とした活動に取り組んでいます。

WE-Net福岡には製造、サービス、ICT、流通、メディアなどの多彩な企業に加え、自治体、国の機関、大学等の職員が参加しています。また職種も管理間接部門、マーケティング、営業、技術など多岐にわたり、異業種の交流会として

W→Women

E→Economics

WE Project→男女問わずすべての関係者が力を合わせて取り組むことを目指すプロジェクト。

WE-Netは、そんな私たちのネットワークです。

も貴重な場となっています。これまでの会員は、福岡県の大曲昭恵副知事をはじめ、社内初の女性執行役員や関連会社の社長に昇進を果たすなど、各界で大きく飛躍しています。

WE-Net福岡は、お互いに支え合う仲間と出会い、自己研鑽および次世代育成に資することを共に学ぶ場ですが、それだけでなく、横のつながりを活かし、自社の経営層や地域社会に対し、積極的に女性活躍推進を働きかけることも期待されています。会員は企業や大学で講演したり、女性活躍に関連するパネルディスカッションでパネリストを担うなど幅広く活躍。女性活躍のロールモデルとして広く社会へ女性活躍の意義を伝え続けています。

2015年度 WE-Net2期生生活動報告

本年の第1回定例会で、活動テーマを以下のよう
に決定しました。

第1回「現状の共有」

第2回「意識を変える」

第3回「仕組みを変える」

第4回「まわりを動かす」

上記の通り段階を追ってテーマを深化。全員で同じテーマについて考えることで、意識の共有や当事者意識のアップにつなげられるようにしました。

5/13日 第1回定例会 於：FGG 本社ビル

組織人の前に“生活人”たれ 男性も女性も笑顔で働くために

女性が社会でこれまで以上に活躍し、誰もが笑顔で働ける社会をつくるためには、トップがまず現状を把握し、対策を立てなければなりません。今回は福岡県庁での職員アンケートから働く側の問題意識や悩みを考察。企業側、管理職としての対応について検討しました。「仕事で一山越える経験をしている女性が少ない」「女性だからと過度な配慮を行っていないか」「長時間労働神話にしがみついているか」など、問題は山積しています。社会全体が組織隷属型の体質から脱却し、個人が気持ちよく働けるよう、ワークライフバランスを整えることが重要です。管理職として、まずはその意識を共有する会になりました。



グループディスカッション

WE-Net1期生より女性活躍推進の背景、意義、状況等の説明後、グループディスカッションを実施。今後の活動に対する意識付けを深めました。

9/1日 第2回定例会 於：九州電力電気ビル本館

管理職の意識変革が 健全なワークライフバランスを作る

今回のテーマは「意識を変える」。仕事環境、風土、文化で見られる困難を、実行委員会で検討した結果、意識の問題は「頑張りすぎる本人」「なんとなく女性を下に見る他人の意識」という二つに分類されることが分かりました。すべての人が気持ちよく働くためには、そんなマイナスな意識の改革が必要です。今回はグループに分かれ、ディスカッションを展開して、意識改革に必要なことや対策について話し合いました。



注目を集めるテレワークと導入事例



テレワークとは、情報通信技術を活用した、場所や時間にとられない働き方のこと。在宅でパソコンなどを使って必要な業務を行います。通わずして働ける一つの形態として、育児、介護と様々な背景を抱える人々から大きな注目を集めています。今回は佐賀県 最高情報統括監の森本登志男さんに、佐賀県庁でのテレワーク導入エピソードと、導入前後での意識変化についてお話しいただきました。

11/24日 第3回定例会 於：グロービス経営大学院

女性活躍推進の第一歩は 仕組みや意識へのアプローチ



メンバーが自社の人事担当や上司を同伴しての開催となった第3回目のテーマは「仕組みを変える」でした。まずはTOTO株式会社の田辺純子さん、北九州市の池永紳也さんから、女性が活躍できる仕組みづくりの先進事例をご紹介します。またそうした取り組みを自社にどのようにフィードバックするかについて、踏み込んだ議論を行いました。

女性活躍推進の第一歩は形をつくること

いずれも女性活躍推進をスタートするにあたって大切だと言われたのが『組織を作ること』と『具体的な数値目標を定めること』の2点です。トップの女性活躍推進に対する強い思いももちろん不可欠ですが、さらに仕組みや形を整えることで、職員の意識にも変化が起きてきます。

グループディスカッション

さらに、TOTO株式会社や北九州市の事例を参考に『自社に取り入れられる仕組みは何か』、『取り入れるために自社には何が必要か』について、メンバーおよびメンバー所属組織の人事や上司を交えたディスカッションを実施。意見交換を行いました。



3/9日 第4回定例会 於：FGG 本社ビル

周りを動かし変えていくために、 私ができること

最終回となる第4回。これまで学んできたことをもとに、自分の組織で自分がどういった働きかけができるかを具体的に検討しました。



- A. 経営者や管理職の意識変革
- B. 時間や場所に捉われない働き方ができる仕組みづくり
- C. 女性が働く意欲と自信をつける
- D. 拘束時間の短縮化の推進
- E. 制度が活かされる職場環境づくり

これら5つの項目を達成するために、自分たちができることについてグループに分かれてディスカッションし、具体的なアクションプランについて発表を行いました。



WE-Net福岡2・3期懇親会

後半は2期生と、2016年3期生として登録するメンバーとの懇親会を開催。活発な意見が交わされました。

WE-Net 福岡3期生スタート

第4回定例会と同日、WE-Net福岡3期生の活動が始まりました。1年かけて女性管理職の立場で女性の活躍を考えていきます。女性管理職が同じ立場の仲間と支えあい、成長できるネットワークとして、また企業・団体が地域の女性の活躍を支援する姿勢を内外に示すことにもつながります。

女性管理職によるリーダーシップ講座

ふくおか女性いきいき塾に登壇

9月12日に開催されたふくおか女性いきいき塾の講座において、WE-Net福岡のメンバー7名が講師として登壇しました。内容は「リーダーシップ」について受講生とともに考えるワークショップ。WE-Net福岡のメンバーは、女性管理職の先輩としてこれからリーダーを目指そうとする受講生たちに対し、体験談や現在の等身大の働き方、考え方などを提示。リーダーシップの取り方、目上の人の上



手な巻き込み方や、上に

▶女性リーダーの先輩として、後輩に体験談等を指南



立つ者が感じるプレッシャーへの対処といった受講生の悩みに耳を傾け、意見を交わしました。受講生にとっては、現在リーダーの立場にある先輩たちの体験に基づく考え方を聞くことで「自分らしいリーダー像」を具体的に見出すヒントになり、有意義な講座になりました。

【福岡女性いきいき塾とは】

福岡県および福岡県男女共同参画センター「あすばる」が主催する女性のためのリーダー育成塾。企業や地域内で責任ある立場で活躍する女性の増加を願って開講しています。

女性の大活躍推進福岡県会議 設立からこれまでの歩み

地域経済界の主導による産官学民一体の取組みとして、全国に先駆けて2013年5月に発足。組織内で働く女性管理職の増加に焦点をあて、女性の活躍推進の成果を「見える化」することで、企業経営や地域経済の活性化を図り、男女共に働きやすく生きやすい社会づくりを目指しています。同年10月には女性管理職ネットワークを立ち上げ、女性リーダー育成を支援。女性の活躍推進に必要な提言や情報発信を続けています。(2013年度の実績：女性管理職登用の加速化に関する提言、2014年度の実績：子育て環境整備に向

けた提言)

2014年7月に日本経団連が公表した「女性の役員・管理職登用に関する自主行動計画」でも福岡方式が採用され、2016年4月1日より施行される「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律(女性活躍推進法)」へとつながってまいりました。この産学官民が連携して女性活躍を推進して行く福岡方式は「平成25年度内閣府地域女性活躍加速化交付金事業」にもその要素が反映され全国各地で連携型の推進協議会が広がることとなりました。

2016年4月1日施行！ 女性活躍推進法について

- ① 自社の女性の活躍に関する状況把握・課題分析
- ② その課題を解決するのにふさわしい数値目標と取組みを盛り込んだ行動計画の策定届出・周知・公表
- ③ 自社の女性の活躍に関する情報の公表

※国・地方公共団体、301人以上の大企業は義務
※300人以下の中小企業は努力義務



九州各県と情報交換 女性の大活躍推進九州連絡会開催

福岡だけでなく、九州各県で女性活躍推進に向けての動きが加速化しています。各県の取組みや課題の共有、そして連携を進めるために連絡会(第1回)を7月17日に開催しました。

2014年度に会議を発足させた佐賀、長崎、熊本、大分。2015年度に発足させた宮崎。準備中の鹿児島。各県を代表するメンバーが一堂に会し、意見交換を行いました。

共通課題である参画企業の拡大に向けては、優良企業の表彰制度を設けたり、アクションプランの中で具体的な取組み事例をふんだんに盛り込んだり、企業改革のコンサルタントを無料派遣したり、と各県がニーズに応じた特長ある事業を展開していることが分かりました。

女性達のキャリア支援についても、ミドルマネジメントに対する研修を行ったり、意見交換のネットワークを設けたり、イベントの準備から関わってもらおう等、様々なスタイルが紹介されました。



▲九州全域でますます女性活躍推進が活発に

また、業界全体のアクションにつなげる試みや、大学と連携した次世代教育の事業など、女性活躍社会を推進するための貴重な意見が交わされました。

今後も九州全体の女性活躍を推進するための情報交換、連携を進めていく予定となっています。

今後九州全体の女性活躍を推進するための情報交換、連携を進めていく予定となっています。

WEBサイトのご紹介



本会議の活動報告や女性活躍に関するニュースやセミナー等の情報、女性のための管理職ネットワーク、ロールモデルの紹介など、多彩なコンテンツを掲載しています。

登壇報告

本会議関係者は、外部の講演会やセミナー等にも多数登壇しております。2016年度も精力的に活動を行ってまいります。

久留百合子共同代表

- 6.9 九州生産性本部(長崎)
- 7.4 ムーブ開所20周年記念式典&講演会(北九州)
- 7.15 イオン九州株式会社幹部研修
- 10.31 社会人出前講座(修猷館高校)「男女共同参画社会って?」
- 11.20 九州生産性本部(鹿児島)
- 1.31 福岡県「翼の会」
- 2.9 「なぜ今、女性活躍なのか」(太宰府ロータリー)

メンバーの登壇

- 6.25 九州経済産業局「女子学生向け出前講座」(筑紫女学園大学) 榊井筒屋 秋山晴美さん登壇
- 7.17 九州経済産業局「女子学生向け出前講座」(福岡女学院大学) マックスバリュ九州(榊)武富さん登壇
- 8.22 「働く女性のためのステップアップ講座」(大分)榊ゼンリン 土谷和子さん登壇
- 8.29 WAW! 2015 女性が輝く社会に向けた国際シンポジウム(東京)「男性と共に変革する」 松田美幸副委員長登壇
- 11.14 あすばる主催「女性のためのキャリアデザイン～働く女性の未来図～」パネリスト登壇 榊西広 與田靖子さん
- 11.29 全国女性会館協議会第59回全国大会 in 福岡 分科会「企業・経済団体と男女共同参画センターの連携を考える」鉄川専務登壇
- 12.8 トークライブ「女たちのサクセスストーリー」福永憲子さん登壇

宣言のお申込み
その他
お問い合わせ先

一般財団法人 九州地域産業活性化センター
〒810-0004 福岡市中央区渡辺通 2-1-82 電気ビル共創館 6F
TEL:092-713-6735 FAX:092-713-4292